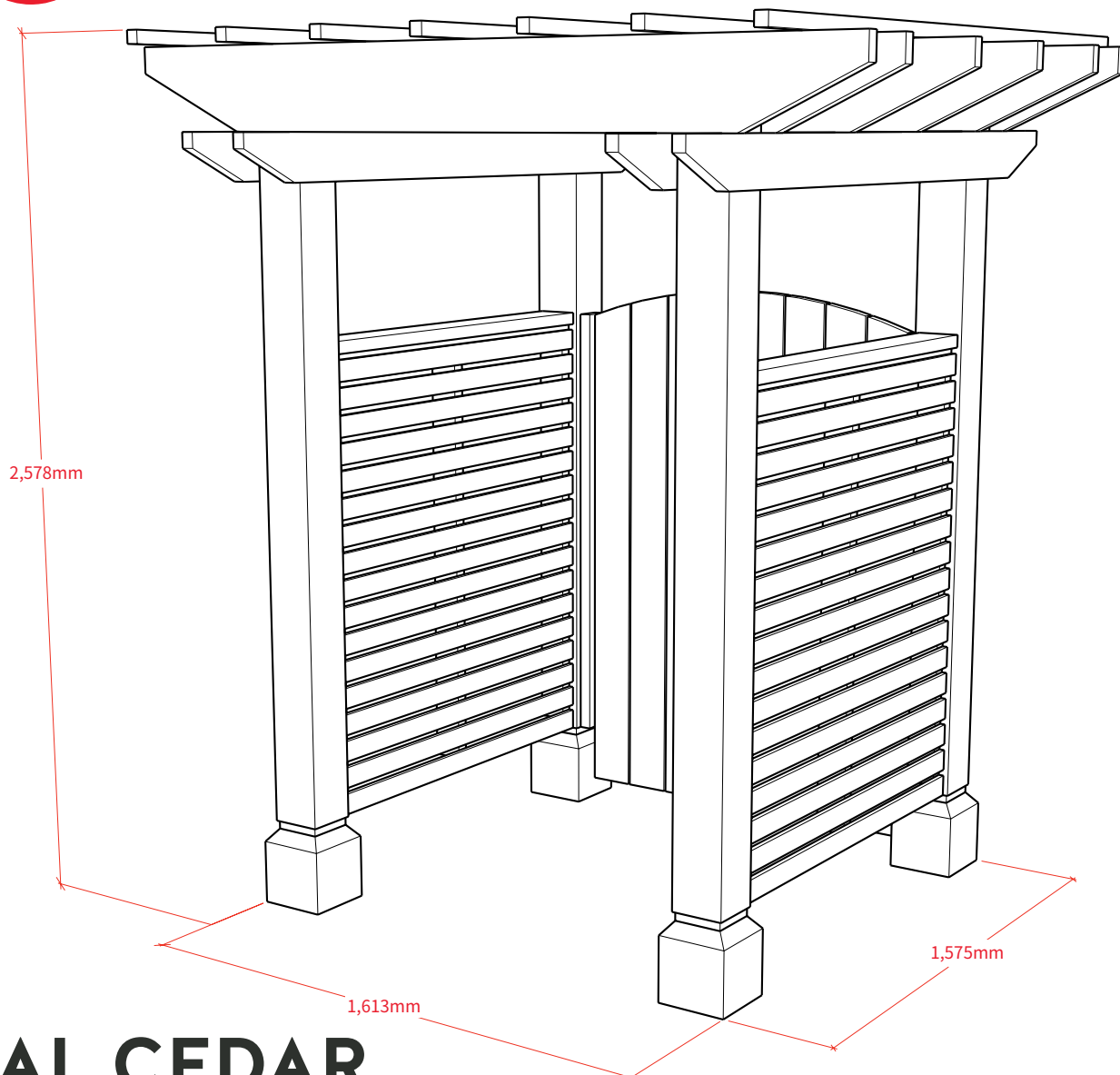




REAL CEDAR モダンなゲート・トレリス

DESIGN: REAL CEDAR ORIGINAL

プライバシーをさりげなく守るモダンな”ゲート・トレリス”。植物がよく映え、単体でも見事な佇まいですが、シンダー・フェンスとの相性も抜群です。重厚感あるウエスタンレッドシダーの太い柱がお庭を印象付けることでしょう。上部のトレリスは、つる性植物との相性が抜群です。

ウエスタンレッドシダーをふんだんに用いるこのデザインは、五感を通して鮮やかな印象を与えます。また、シンダー材は耐久性が高いだけでなく、非常に軽い素材であり、腐朽や害虫に対する天然の抵抗性が高いことでも知られています。

素材のグレード(等級)については、素朴な印象をお好みの方は、アーキテクト・ノッティ(節あり)をお選びください。また、洗練されたモダンなイメージには、アーキテクト・クリア(無節)がおすすめです。木材の寸法は、お近くの取り扱い店で在庫を確認しましょう。短いサイズをお選びいただくと、作業工程や素材の無駄が減ります。

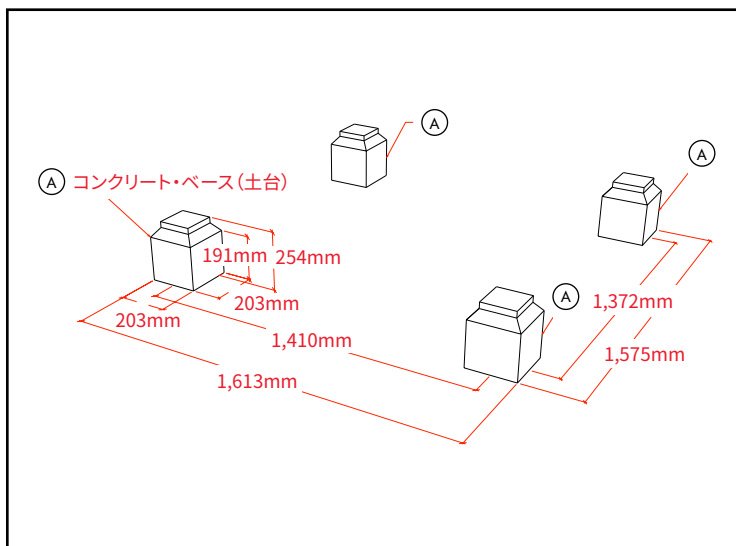
材料リスト

記号	名称	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	呼称寸法	素材	部数
トレリス							
A	コンクリートベース (オプション)	コンクリートベースは、お住いの地域の建築基準法に準じて設置してください。					
B	ポスト(柱)*	140	140	2,286	6" x 6" x 8'	WRC セレクトノットティー	4
C	ラフター(垂木)	38	140	2,057	2" x 6" x 8'	WRC セレクトノットティー	4
D	ラフター(垂木)	38	241	2,362	2" x 10" x 8'	WRC セレクトノットティー	6
E	トレリス(格子)	38	38	2,057	2" x 2" x 8'	WRC セレクトノットティー	7
*コンクリートベースを使わない場合、ポストは少なくとも地中24インチ(60cm)もしくは地下凍結線に達する長さにします。							
サイドウォール							
F1	ウォール・フレーム(横)	38	89	1,219	2" x 4" x 4'	WRC セレクトノットティー	4
F2	ウォール・フレーム(縦)	38	89	1,321	2" x 4" x 5'	WRC セレクトノットティー	6
F3	ウォール・スラット	16	64	1,219	1" x 3" x 4'	WRC セレクトノットティー	68
F4	ウォール・トップ	38	127	1,219	2" x 6" x 4'	WRC セレクトノットティー	2
ドア							
G	ドア・スラット	38	140	1,613-1,715	2" x 6" x 6'	WRC セレクトノットティー	8
H1	ドア・フレーム(縦)	38	89	1,162	2" x 4" x 4'	WRC セレクトノットティー	2
H2	ドア・フレーム(横)	38	89	1,575	2" x 4" x 6'	WRC セレクトノットティー	2
H3	ドア・フレーム(斜め)	38	89	1,708	2" x 4" x 6'	WRC セレクトノットティー	1
H4	ドア・サポート	38	89	1,435	2" x 4" x 5'	WRC セレクトノットティー	2
金物							
I	ラグボルト&ワッシャー						
J	ステンレスねじ						
K	ヒンジ(蝶番)						
L	ハンドル						

プロのコツ

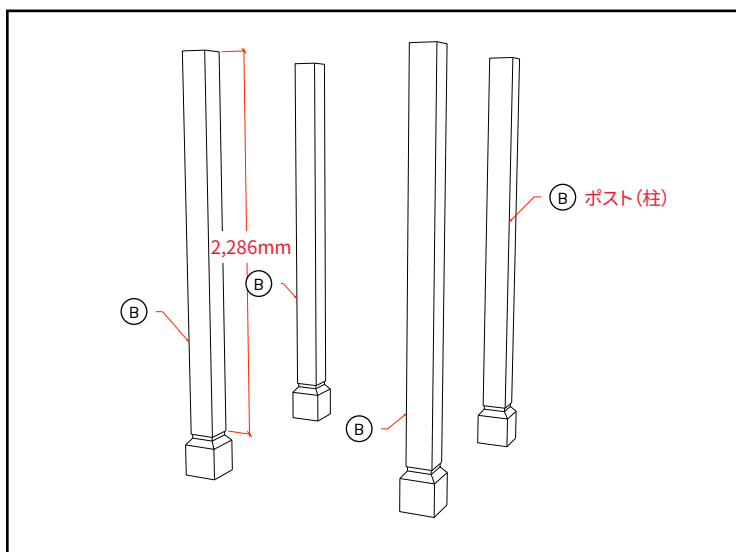
1. 接着箇所には、屋外用かつ建築用のポリウレタン接着剤をお使いください。木片を使って、トーストにバターを塗るように、薄く均一に塗布します。接着剤がはみ出さないよう、適量を縁から1/2インチ(約12-13mm)内側まで塗りましょう。その後、接着面を所定の位置に押し当て、1秒間引き離してから、もう一度 圧着します(これにより、接着剤が活性化され、早く固まります)。接着剤が完全に乾く前に、ネジを締めるなどの作業を行う場合は、必ずクランプで固定しましょう。
2. 屋外用家具には、耐腐食性の溶融亜鉛メッキまたはステンレス鋼の釘を使いましょう。その他、ボルト・ネジ・ヒンジといった金物も、耐腐食性に優れたタイプを選ぶ必要があります。
3. シダー材は、自然な経年変化を楽しむことができる素材です(徐々に、美しいシルバークレーへと変化)が、仕上げを塗布する場合は、組立てを行う前に6面全てを塗布しましょう。

注: Real Cedarは、これらのガイドラインに関連して生じた人身傷害または物的損害について責任を負いません。



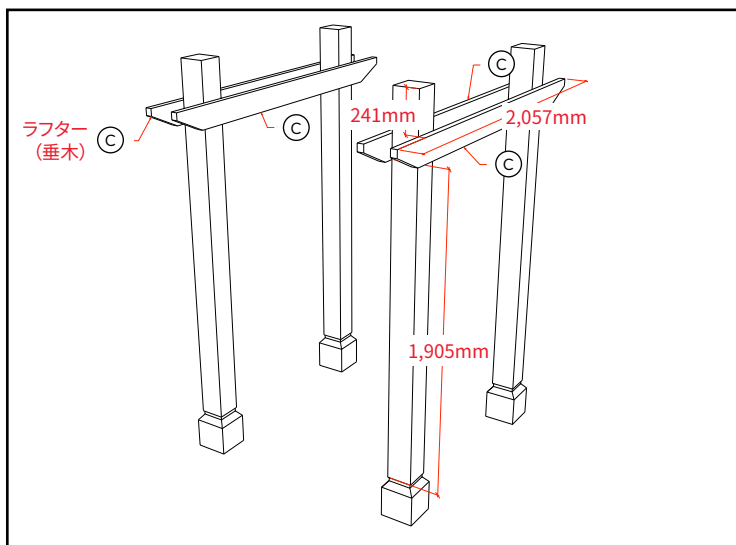
ステップ1 [土台の設置]

まず、支柱の設置位置を決定し、地面に印をつけます。次に、印をつけた位置に穴を掘り、コンクリートを流し込みます。そして、受け金物を設置して、土台を24時間乾燥させます。なお、コンクリートの土台を使用しない場合は、長めの支柱を用意し、地下凍結線より深い位置または地面24インチ程度(約60cm)埋めましょう。



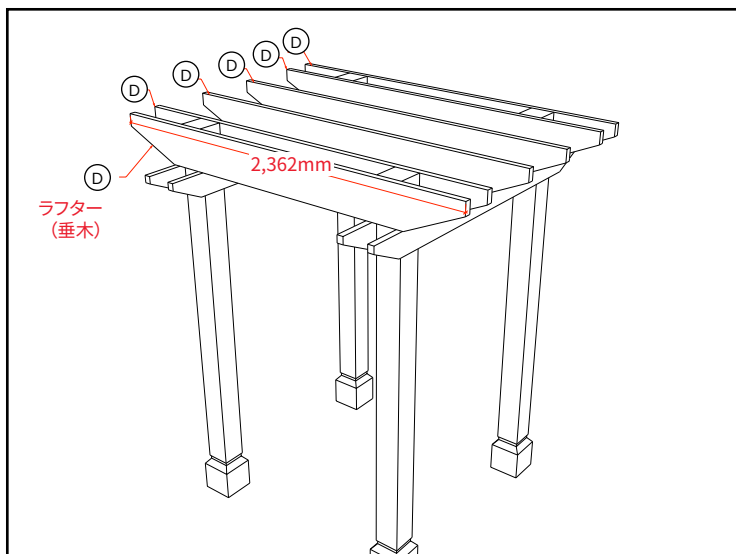
ステップ2 [柱立上げ]

土台に柱(B)を設置します。



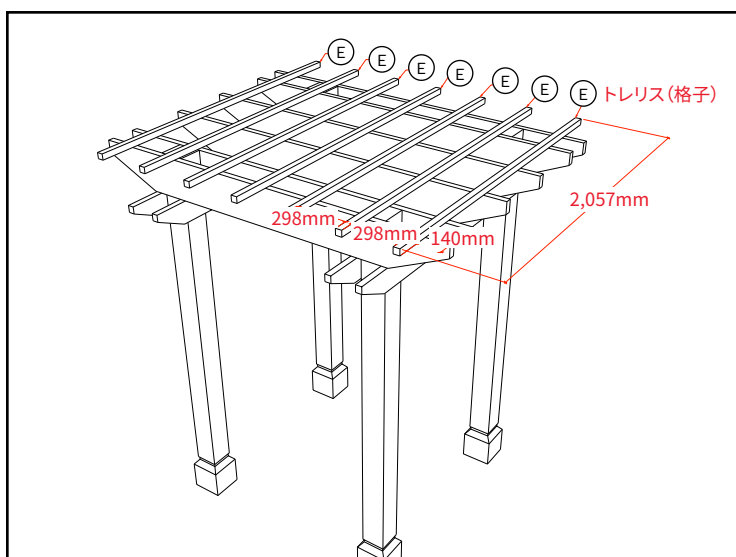
ステップ3 [垂木(C)の取付]

左右どちらかの2本の柱に、垂木(C)を渡して固定します。反対側の2本の柱にも、垂木(C)を取付けます。この時、垂木同士が平行になるよう注意しましょう。



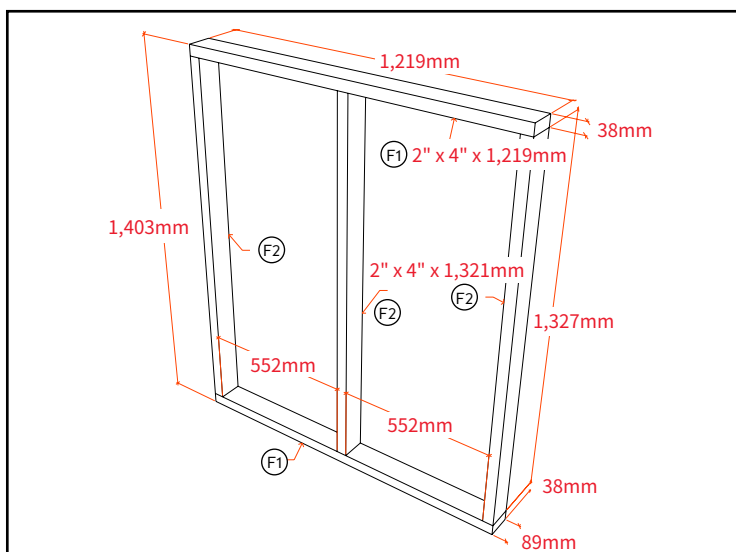
ステップ4 [垂木(D)の取付]

先に設置した垂木(C)の上で、手前の左右の柱を挟むように2本の垂木(D)を取付けます。奥の左右の柱にも同様に2本の垂木(D)を取り付けます。残った2本の垂木(D)は、柱に取り付けた垂木の間に均等な間隔で設置します。



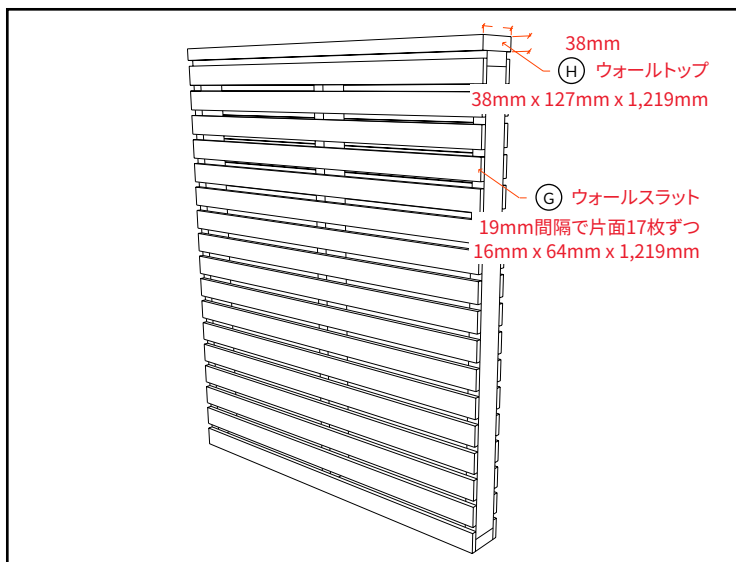
ステップ5 [トレリスの取付]

図のように、垂木(D)の上に7本のトレリス(E)を均等な間隔をおいて取り付けます。



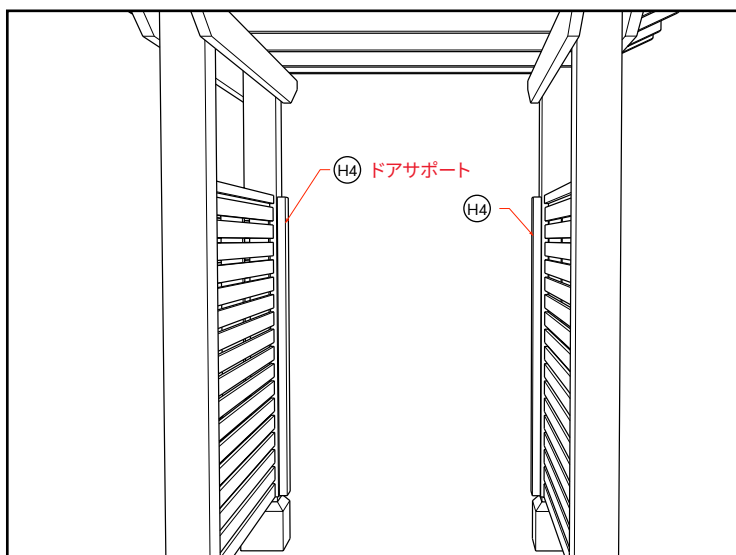
ステップ6 [壁枠の組立]

フレーム板(F2)3本を平行に均等に並べ、一方にフレーム板(F1)を取付けてから、反対側にもフレーム板(F1)を取り付け、枠を作ります。同様にもう一つ枠を作ります。



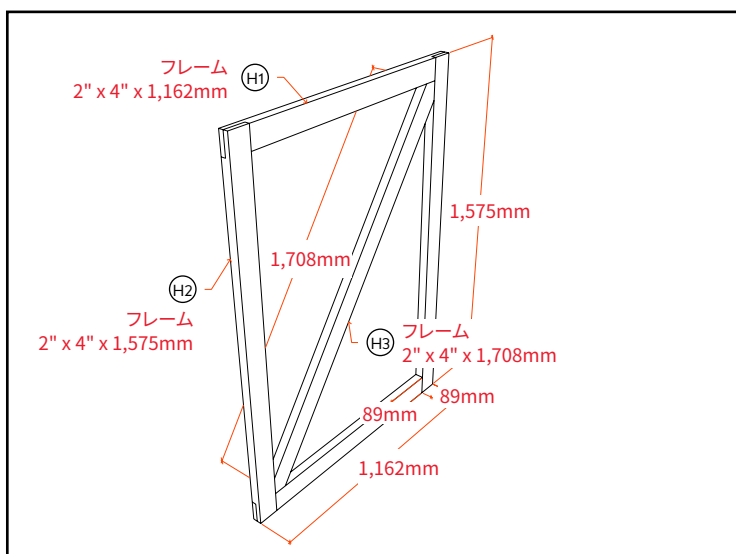
ステップ7 [壁の完成]

ステップ7 [壁の完成] 壁枠の両面にスラット(F3)を17本ずつ取り付けます。壁枠の上部にトップ材(F4)を取り付けます。



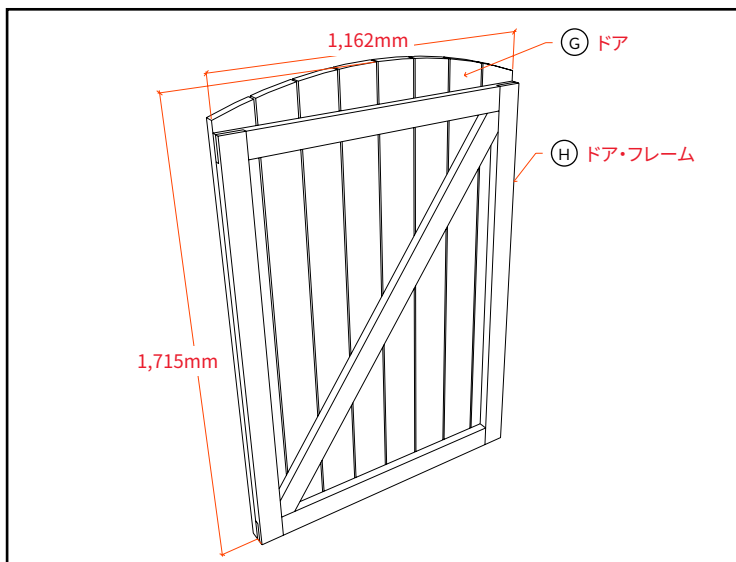
ステップ8 [壁の設置]

完成した壁をそれぞれ左右の柱に取り付けます。後でゲートを取り付ける左右の柱にサポート(H4)を取り付けます。



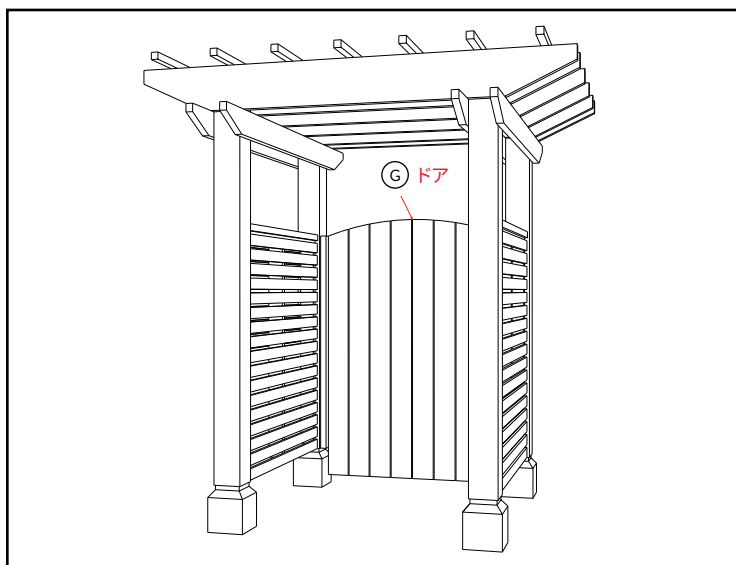
ステップ9 [ゲート枠の組立]

フレーム板(H1)(H2)を2本ずつ使って枠を作り、内側にフレーム板(H3)を斜めに取り付けます。



ステップ 10 [ゲートの完成]

ゲート枠に、スラット(G)を均等な間隔で取り付けます。
次に、上部をアーチ型にカットし、ヒンジを取り付けます。



ステップ 11 [ゲートの設置]

ゲート設置用ヒンジを取り付ける箇所に印をつけます。別の
人にゲートを支えてもらい、取り付けます。最後に、ステン
レス製の掛け金を取付けます。